

環境の未来：環境への思いやりが、充実した暮らしにつながるまち

	1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実	2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実	3. いのちの源としての水環境の充実																																																																							
	建設下水道課、地域振興課、企画財政課	建設下水道課、総務課、福祉課	建設下水道課、町民課、企画財政課、地域振興課																																																																							
成果が上がったこと	<ul style="list-style-type: none"> 【大きな遅滞ない事業推進】用地買収や農繁期の交通規制等、道路整備は進捗管理が難しいものの概ね目標どおり進捗。老朽化した住宅の住み替え・解体等も進めた。 【行政支出の効率化】重機借上げによる対応や、シルバー人材センターへの委託と併せて、地域住民へ道路・水路等への原材料支給を行う事で人件費・経費等を削減。 【移住・定住の取組推進】移住定住情報サイトを新設し、アクセス数は23,448件（令和3年度）。Instagram、LINEによる行政情報や町の魅力を発信。婚活イベントの参加希望者は多くニーズは高い。 【空き家バンク制度の成果】空き家バンク制度を利用した移住が5世帯。空き家バンク登録物件は年々増加しており、町内の空き家解消にも寄与。 	<ul style="list-style-type: none"> 【道路整備の推進】町道網の中で主要な一級町道を中心に事業展開し、これに併せて通学路の歩道整備も、地元の理解や協力を得ながら積極的に取り組んでいる。 【公共交通の維持】バスサービス整備及び維持のための補助金をバス運行会社へ支出。交通弱者へのタクシー料金の助成を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業実施の成果】公共用水域及び地下水の水質汚濁防止に一定の成果。 【事業の効率化】宮原浄化センターの八代北部浄化センター編入に向け準備。 【経営の自立化】下水道経営においては、公営企業会計導入を令和5年度に予定。 【丁寧な対応】加入促進対策事業・水洗便所改造促進事業に関して、戸別訪問の実施を行っている。わずかながらではあるが効果が表れている。 【定期的な活動実施】年に1回、氷川流域での清掃活動及び遊歩道の整備を実施。 【活動地区の増加】河川沿いの緑化活動に取り組む地区が若干増えてきている。 【地区活動の継続】地区では住民やホテルを守る会が定期的にごみ拾いや草刈りを実施し、ホテルが生息しやすい環境づくりが継続して行われている。 																																																																							
	<p>道路改良率【%】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65.3</td> <td>65.3</td> <td>66.0</td> <td>66.0</td> <td>67.0</td> <td>68.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>空き家バンクの登録戸数（新規）【戸】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>28</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	65.3	65.3	66.0	66.0	67.0	68.0	H29	H30	R1	R2	R3	目標	5	7	9	13	28	40	<p>路線バス7系統維持【路線】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>—</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>交通手段支援実施【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>181</td> <td>193</td> <td>191</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	7	6	6	6	—	7	H29	H30	R1	R2	R3	目標	0	0	181	193	191	300	<p>広域化に向けた事業実施【件】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>水辺空間の適切な維持管理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	0	1	1	1	1	1	H29	H30	R1	R2	R3	目標	—	実施	実施	実施	実施
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
65.3	65.3	66.0	66.0	67.0	68.0																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
5	7	9	13	28	40																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
7	6	6	6	—	7																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
0	0	181	193	191	300																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
0	1	1	1	1	1																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
—	実施	実施	実施	実施	実施																																																																					
課題が顕著なこと	<ul style="list-style-type: none"> 【整備費の適正化】道路整備について、交通ネットワークに影響を与えている箇所や通学路の危険箇所がある。突発的な対応が必要になる場面もある（舗装陥没等）。材料費や燃料費が高騰しているなか、財政面を鑑みて事業の優先順位をつけていく必要がある。 【コロナ禍での取組検討】SNSでの情報発信が効果的だが、職員だけの視点では限界。戦略的な広報が必要。婚活イベントや移住体験住宅活用、移住相談会への参加等はコロナ禍での開催方法の検討が必要。 【事業の更なる推進】登録物件は増加したものの、移住希望者とのマッチングがうまくいかない。登録物件の更なる増加と、希望の多い賃貸物件の増加が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 【整備効果の検証】新規道路整備はH17合併当時の計画であり、その必要性、財政面、八代市との調整など総合的に検討を進める必要がある。 【補助金支出の増加】バス運行会社への補助金額は年々増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 【高齢者への更なる普及】合併浄化槽への転換・下水道接続について、宅内配管工事の費用負担、水洗化改造資金、高齢者世帯等を理由に普及が進んでいない。 【維持管理の適正化】老朽化している下水道施設の維持管理を持続的かつ合理的に行う必要がある。 【参加者の減少】活動を進める地域でも、継続的な活動としていけるかが課題。体験学習は参加者が少ない。コロナ禍での実施方策や住民の関心を引くテーマの再考が必要。清掃活動への参加は、町職員や協力要請を行う団体に限られている。 																																																																							
	<p>婚活支援事業登録者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>26</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>移住定住受入体制整備完了地区数【地区】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	27	26	10	0	0	30	H29	H30	R1	R2	R3	目標	—	0	0	0	0	3	<p>広域道路整備の推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>宇城氷川 SIC へのアクセス道路整備事業の実施路線整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施路線未定</td> <td>実施路線未定</td> <td>実施路線未定</td> <td>実施路線未定</td> <td>ルート検討</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	推進	H29	H30	R1	R2	R3	目標	実施路線未定	実施路線未定	実施路線未定	実施路線未定	ルート検討	実施	<p>合併浄化槽普及率【%】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32.3</td> <td>30.2</td> <td>29.6</td> <td>17.9</td> <td>18.8</td> <td>22.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>水洗便所改造促進事業の制度申請年平均件数【件】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	32.3	30.2	29.6	17.9	18.8	22.0	H29	H30	R1	R2	R3	目標	20	13	11	10	16
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
27	26	10	0	0	30																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
—	0	0	0	0	3																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	推進																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
実施路線未定	実施路線未定	実施路線未定	実施路線未定	ルート検討	実施																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
32.3	30.2	29.6	17.9	18.8	22.0																																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																					
20	13	11	10	16	20																																																																					

	4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造	5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり	6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり																																																																														
	地域振興課、農地課	地域振興課、企画財政課	町民課																																																																														
成果が上がったこと	<ul style="list-style-type: none"> 【地区活動の促進】各地区の花いっぱい運動による環境整備は継続して取り組む地区もあり、県の支援やまちづくり補助金などが活用された。 【多世代の竜北公園の利用】竜北公園へは季節に応じて来園者が多く、家族連れなどが自然の中で活動している様子が見られる。 【各種計画の策定】町国土利用計画及び町土地利用計画を策定。 	<ul style="list-style-type: none"> 【住民参加の機会創出】定期的な清掃活動や体験事業を開催。 【里山体験機会の創出】新型コロナウイルス感染症拡大の中、里地屋敷に742名の宿泊があった。 【適切な維持管理】老朽化した看板2基、ログハウスの屋根改修等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 【家庭・地域でのリサイクル活動推進】保健衛生委員によるリサイクル及び分別推進、ごみ減量化標語コンクールなどの啓発活動を通じて、ごみ減量化やリサイクル・分別活動が進む。ごみ減量化宣言に伴い、生ごみ処理機の導入推進を図るとともに、新たな取り組みとして、生ごみコンポスト購入費助成、資源物品目の拡大、平日資源物拠点回収の設置等により、可燃ごみの減量及び資源物収集量が増加。 【クリーンエネルギーの活用促進】町民や業者への周知ができ、補助の件数も増加 【不法投棄等の早期発見】廃棄物監視員を中心に、野焼きや不法投棄の防止活動に努めており、近年早期発見が図られている 																																																																														
	<p>竜北公園の来園者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59,000</td> <td>67,000</td> <td>67,000</td> <td>66,000</td> <td>46,000</td> <td>80,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>土地利用計画とまちづくり条例の運用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	59,000	67,000	67,000	66,000	46,000	80,000	H29	H30	R1	R2	R3	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	<p>里地屋敷宿泊者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>1,531</td> <td>1,525</td> <td>544</td> <td>742</td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>立神峡公園の宿泊者数【人】(下段は宿泊売上(千円))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,927</td> <td>5,178</td> <td>7,940</td> <td>4,697</td> <td>5,300</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>9,390</td> <td>9,858</td> <td>10,248</td> <td>9,878</td> <td>9,890</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	—	1,531	1,525	544	742	1,500	H29	H30	R1	R2	R3	目標	4,927	5,178	7,940	4,697	5,300	1,200	9,390	9,858	10,248	9,878	9,890	12,000	<p>ごみ発生重量【t】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,971</td> <td>3,760</td> <td>3,591</td> <td>3,309</td> <td>3,253</td> <td>3,362.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※目標はR5年</p> <p>資源ごみ回収量【t】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29</td> <td>39</td> <td>146</td> <td>202</td> <td>204</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標※	3,971	3,760	3,591	3,309	3,253	3,362.5	H29	H30	R1	R2	R3	目標	29	39	146	202	204	84
	H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																											
	59,000	67,000	67,000	66,000	46,000	80,000																																																																											
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
実施	実施	実施	実施	実施	実施																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
—	1,531	1,525	544	742	1,500																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
4,927	5,178	7,940	4,697	5,300	1,200																																																																												
9,390	9,858	10,248	9,878	9,890	12,000																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3	目標※																																																																												
3,971	3,760	3,591	3,309	3,253	3,362.5																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
29	39	146	202	204	84																																																																												
課題が顕著なこと	<ul style="list-style-type: none"> 【地区活動の更なる促進】実施中の地区には継続の、未実施の地区へは取り組みの啓発が必要である。また、くまもと緑・景観共同機構による花いっぱい運動支援事業により種子や苗の支給があり、本制度の利用・拡充を目指す。 【更なる魅力向上】里山環境をツーリズムの活動の場として活用するよう検討。 【限定的な景観誘導】現在のまちづくり条例の適用区域が宮原地区に限定されているため、竜北地区における誘導が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 【コロナ禍での住民参加】新型コロナウイルスの拡大による事業の縮小や中止のため、住民の参加呼びかけが行えていない。体験事業などのニーズや実施方法の検討が必要。 【地域との協力体制構築】広い世代に環境学習活動を提供する事業を実施するため、地域との協力体制の構築が必要。新型コロナウイルス感染症に対応した実施体制の構築が求められる。 【維持管理の適正化】公園内施設や設置物、看板等にも老朽箇所が見られ、維持コストも高い。 【人材育成】指定管理者等との連携や里山環境インストラクターの養成が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ルール周知】R6年度から八代市への可燃ごみ処理の事務委託に伴い、ごみ収集体系やごみ分別基準の変更などが必要。住民への分かりやすい説明及び周知が必要。 【悪質な不法投棄の増加】不法投棄件数は増加し、繰り返し投棄するなど、悪質なものも増加(警察と連携した対応を進めている)。 																																																																														
	<p>花いっぱい運動の取組地区数【地区】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>景観に関する助成制度の確立</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>未着手</td> <td>未着手</td> <td>未着手</td> <td>未着手</td> <td>確立</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	11	21	17	16	15	20	H29	H30	R1	R2	R3	目標	—	未着手	未着手	未着手	未着手	確立	<p>清掃活動及び体験事業の参加者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>40</td> <td>中止</td> <td>50</td> <td>27</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>立神峡公園における森林観察会参加者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	25	40	中止	50	27	50	H29	H30	R1	R2	R3	目標	22	0	0	0	0	40	<p>不法投棄発生回数【回】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>87</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>電気式生ごみ処理機購入費補助事業助成件数【件数】 (上段：家庭用、下段：事業所用)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>20</td> <td>65</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	20	14	14	13	87	10	H29	H30	R1	R2	R3	目標	0	20	65	22	10	100	0	0	0	0	0	5
	H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																											
	11	21	17	16	15	20																																																																											
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
—	未着手	未着手	未着手	未着手	確立																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
25	40	中止	50	27	50																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
22	0	0	0	0	40																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
20	14	14	13	87	10																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																																												
0	20	65	22	10	100																																																																												
0	0	0	0	0	5																																																																												

《施策の体系ごとの成果と課題》（赤文字：担当課、オレンジ文字：成果、青文字：課題）

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
1. 魅力的で 住みやすい 生活環境の 充実	① 便利で快適な生活環境づくりのための生活道路・公園施設の充実	建設下水道課 地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> 【各地区における憩いの空間づくり事業】各地区において憩いの場づくりまではないものの、地区公民館の周辺や公共施設（道路脇）など花いっぱい運動などで環境整備が実施され、憩いの場づくりの雰囲気は継続されている。 【公共サインの検討及び整備（ひかりんを活用した統一サインの整備）】維持管理のため、現状確認を実施した。改修が必要となるサインはなかった。 計画策定、地元合意、予算確保、用地交渉・買収、登記、工事実施と多岐にわたる事業であり、用地買収など特に時間を要する。また工事の実施時期についても農繁期の交通規制など難しい面もあり部分的に若干の遅れも見られるものの概ね目標どおり進捗している。 道路については直営での巡視や補修（一部委託）を実施した。橋梁については国の交付金事業により計画的な点検や補修を継続して行っている。 重機借上げによる対応や、シルバー人材センターへの委託と併せて、地域住民へ道路・水路等への原材料支給を行う事で人件費・経費等の削減を行うことが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【各地区における憩いの空間づくり事業】地区で管理する地区公園は、施設を管理する地域住民の担い手不足などにより維持管理が困難になりつつある。 【公共サインの検討及び整備（ひかりんを活用した統一サインの整備）】公共サインの支柱は木製であり、今後、交換時は使用材質を考慮する必要がある。また、経年劣化に伴う補修が今後増加する見込みであり、各々のサイン毎に撤去も含め管理方法を検討する。 地域住民の長年の生活により構成されている道路網であり、大幅な見直し必要は現実的ではない。しかし部分的な問題により交通ネットワークに少なからず影響を与えている箇所や通学路の危険箇所などがあるため、こういうものに集中的に取り組んでいく方向性へと転換していく必要がある。財政的な面からも対象事業を絞り込んでいくことは当面の課題である。 道路の舗装陥没などは突発的な対応が求められる場合が多く、直営と委託のバランスを組織体制や財政的な面から随時調整を行っていく必要がある。 コロナ禍や戦争などの影響により材料費や燃料費が高騰している。これに合わせた予算確保が必要である。
	② 質の高い住宅・宅地の整備・誘導及び公的住宅の充実	建設下水道課	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づき公営住宅の長寿命化を図っており、概ね計画道理の進捗である。 老朽化した住宅の住み替えを進め、順次解体を実施している。解体跡地の宅地分譲を実施し住まいの確保を目指している。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画を改正しながら、長寿命化を図る一方、老朽化した住宅については、計画を見直し、解体を進める予定であるが、跡地の宅地分譲やその他の利活用を検討する必要がある。 高齢化や、住居環境の変化に抵抗のある住民への住み替え促進が一部滞っている。
	③ 移住定住にむけた魅力的な生活環境整備と情報発信	地域振興課 企画財政課 建設下水道課	<ul style="list-style-type: none"> 令和 2 年度にホームページを改修し、移住定住情報サイトを新設した。アクセス数は 23,448 件（令和 3 年度）と、町ホームページ（トップページ）の次に多く、関心が高まっている。また、平成 31 年 1 月にInstagram、令和元年 11 月に LINE を開設し、行政情報や季節にあわせた風景などを発信し、町の魅力を PR した。 【婚活応援事業】定住自立圏婚活事業として、氷川町、八代市、芦北町各会場で婚活イベントを開催しているが、参加希望者は多くニーズは高い状況である。コロナ禍でも参加希望は減少していない。 【移住総合情報発信ツール制作事業】平成 28 年度に作成した移住希望者向けの町 PR 動画を活用しており、新たに動画等を作成はしなかった。 【移住者に対する支援策の創設】移住相談による移住の実績委は無かったものの、空き家バンク制度を利用した移住が 5 世帯あった。 【地区環境の保全と受け入れ態勢の検討】地区での受け入れ態勢の検討については地区との協議等が未実施であった。 空き家バンク登録物件は年々増加しており、町内の空き家解消に成果が出ている。 利用登録者も、町外者が多く、移住促進における成果も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 移住者や関係人口を増やすためには、SNS での情報発信が効果的だが、職員だけの視点では限界がある。今後は、ターゲットを絞り、方向性を明確にした戦略的な広報が必要である。ホームページの移住定住情報については、空き家バンクの情報が主であるが、他自治体のように移住者の声や地区ごとの特色や魅力を発信することも必要ではないかと考える。 【婚活応援事業】ニーズが高いイベントであるため、新型コロナウイルス感染症の対策を図りながら、開催する方法を検討する必要がある。 【移住総合情報発信ツール制作事業・移住者に対する支援策の創設】大都市圏での本町の認知度は依然として低く、移住相談はまだ少ない状況にある。コロナ禍の中で、都市圏で開催される相談会への参加や移住体験住宅の積極的な活用も難しい状況にある。空き家バンクへの物件登録も以前より増えてきたが、移住希望者とのマッチングがうまくいかないことが多い。 【移住者に対する支援策の創設】新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での移住相談会への参加が厳しい状況にあるため、オンラインでの相談会に積極的に参加していく必要がある。 【地区環境の保全と受け入れ態勢の検討】地区での受け入れ態勢の確保には、地区との協議を進めていく必要がある。また、空き家バンクの物件も賃貸が少ないことが課題。 一部契約に至らない物件が残り続けている。

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
				<ul style="list-style-type: none"> また、利用希望者に対し、登録物件が少ないことから、空き家調査において所有者を把握し、適切な管理と併せバンク登録の推奨を実施する等、さらなるバンク登録促進が必要と考える。
2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実	①広い行動範囲で便利に暮らすための幹線道路ネットワークの確立 広域的な幹線道路ネットワークの確立へむけ、国・県・周辺自治体との調整に努めるとともに、町内の骨格となる生活幹線道路の計画的な整備を推進します。	建設下水道課	<ul style="list-style-type: none"> 八代市の動向を協議し、情報収集を行った。 用地買収から工事实施へとつなげることが出来た。今後も事業推進を継続していく。 より現実的なルート案について検討を進めている。 町道網の中で主要な一級町道を中心に事業展開し、これに併せて通学路の歩道整備も、地元の理解や協力を得ながら積極的に取り組んでいる。町内道路ネットワークを考えるうえで根幹となるもので、これらの動向により道路網の形態も変わってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規道路整備であるが、H17合併当時の計画であり、その必要性、財政面、八代市との調整など総合的に検討を進める必要がある。 一部用地買収の交渉が長引いている案件があるため、解決に向けた取組みに特に力を入れる必要がある。工事発注にも遅れが見られるため、工事が安全に実施されるよう余裕を持った計画的な事業推進が必要である。 当該事業の必要性を含め、財源やルート案の検討を進めていく必要がある。 町内のみならず周辺地域の動向を踏まえた広域的な視点での検討が必要になる。スマートICの開通やくまモンポートの開業、大型ショッピングモールの開業など、広域的な交通流の変動に伴い、地域住民のニーズも変化していくため。
	②交通弱者のニーズに応じた移送サービスの充実 高齢者をはじめとする交通弱者が必要とする交通手段を調査・検討し、公共交通網の充実を図ります。	総務課 福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 既存のバスサービス整備及び維持のための補助金を、バス運行会社へ支出している。 	<ul style="list-style-type: none"> バス運行会社への補助金額は年々、増加傾向にある。
3. いのちの源としての水環境の充実	①各家庭、各事業所における「環境にやさしい水の上手な使い方」の啓発 水について学び、環境に負荷をかけない暮らしや産業活動のあり方を考え、実践する意識を育てていきます。	町民課	<ul style="list-style-type: none"> EM発酵液の町内小中学校への配布により、水環境の改善及び環境に対する意識の向上に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> EM発酵液利用による水環境への影響を周知し、各家庭での利用普及及び啓発を図る必要がある。
	②水の環境を守り、育むための下水道の普及 家庭排水による水質汚濁を低減するために、公共下水道の普及を図るとともに、各家庭や事業所の下水道への接続を促進していきます。	建設下水道課 町民課	(町民課) <ul style="list-style-type: none"> 下水道計画区域外の地域においては、氷川町浄化槽設置整備事業を実施することにより、合併浄化槽設置が図られ、公共用水域及び地下水の水質汚濁防止に一定の成果が図られている。 (建設下水道課) <ul style="list-style-type: none"> 【下水道処理の広域化推進事業】宮原浄化センターの八代北部浄化センター編入に向け準備を行っている。広域化共同化が早期に実現できるよう進めている。 【下水道施設維持・更新業務】ストックマネジメント計画に基づき、適切かつ合理的な改築修繕工事を行っている。また、下水道経営においては、公営企業会計導入を令和5年度に予定しており、更なる経営安定化を目指す。 【加入促進対策事業・水洗便所改造促進事業】戸別訪問の実施を行っている。わずかながらではあるが、効果が見られる。 	(町民課) <ul style="list-style-type: none"> 汲み取り槽・単独処理浄化槽から環境に負荷の少ない合併処理浄化槽へ転換については、宅内配管工事が必要となり、その費用負担があるため、現在普及が進んでいない状況にある。そのため、下水道計画区域外では、汲み取り槽・単独処理浄化槽の家庭もまだ多い状況である。 この課題解決のためには、氷川町浄化槽設置整備事業で宅内配管に対する補助の追加を検討する必要がある。 (建設下水道課) <ul style="list-style-type: none"> 【下水道処理の広域化推進事業】汚水の計画水量に対し、雨天時最大流入量が上回っている状況であり、建設中の圧送ポンプの容量を超えている。引き続き、不明水対策を講じる必要がある。 【下水道施設維持・更新業務】老朽化している下水道施設の維持管理を持続的にかつ合理的に行うため、計画を策定していかなければならない。 【加入促進対策事業・水洗便所改造促進事業】戸別訪問を実施しているが、高齢世帯や水洗化改造資金等により、下水道接続を断念されるケースが多い。今

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
				後も粘り強く啓発していくことが重要である。
	<p>③住民の憩いの場としての水路や池、海岸などの水に親しむ身近な水辺づくりの推進</p> <p>水に親しむ場として身近な水辺の環境整備や活用を推進します。</p>	建設下水道課	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画どおり実施している。 ● 計画どおり実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のところ重大な問題点は見当たらない。 ● 時間の経過とともに老朽化の影響などから維持管理費が大きくなることが懸念される。
	<p>④水の流れに沿って、様々な生き物が棲み続けられる水環境の改善</p> <p>河川敷や護岸、堤防沿いの道、さらにその川沿いの地域の環境をできる限り自然に近い状態に改善し、水に親しめるようにしていきます。</p>	企画財政課 地域振興課 建設下水道課	<ul style="list-style-type: none"> ● 年に1回、氷川流域での清掃活動及び遊歩道の整備を実施している。清掃活動については町職員や関係団体が参加し、環境整備を実施できている。体験学習については、令和2年度以降新型コロナウイルスにより開催できていない。 ● 【川沿いの緑化支援】 県の補助金や町の活性化交付金を活用しながら河川沿いの緑化活動に取り組む地区が若干増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 体験学習について、参加者の少なさが課題である。新型コロナウイルスの影響で開催ができていないため、コロナ禍でも実施できるような方策の検討が必要。また、住民の関心を引くテーマの再考も必要。 ● 【川沿いの緑化支援】 地区づくり活動で川沿い緑化の取り組みを行う地区が一部にとどまっており、継続的な活動としていけるかが課題。
	<p>⑤氷川流域市町の官・民両面での連携による森林保全・育成、河川・海岸環境整備やクリーンアップ活動の推進</p> <p>氷川の流域全体で連携して、水源の森から海までの河川に関わる環境改善の活動を推進します。</p>	企画財政課 町民課	<ul style="list-style-type: none"> ● 年1回の氷川流域の清掃活動のほか、地区では住民やホタルを守る会が定期的にごみ拾いや草刈りを実施し、ホタルが生息しやすい環境づくりが継続して行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃活動への参加は、町職員や協力要請を行う団体に限られ、町民の環境保全に関する意識醸成に繋がっていない。
4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造	<p>①道路や公共施設、各家庭での緑化推進によるみどりのネットワークづくり</p> <p>町内各地区での身近な緑化や花いっぱい運動などの住民の自主的な活動を支援していきます。</p>	地域振興課 農地課	<ul style="list-style-type: none"> ● 多面的機能支払交付金事業は土地改良区や広域協定と連携して事業が実施出来ており、今後も連携を密にして事業を促進していく。 ● 【花いっぱい運動の推進】 各地区の花いっぱい運動による環境整備は継続して取り組む地区もあり、県の支援やまちづくり補助金などが活用された。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多面的機能支払交付金事業は令和4年度より新たな5ヶ年計画となっており、土地改良区や広域協定との連携を継続し、事業を実施していく。また、事業未実施の地区において要望があれば、事業内容を説明して取り組みに繋げて行く必要がある。 ● 【花いっぱい運動の推進】 毎年増減があるが、実施中の地区には継続の、未実施の地区へは取り組みの啓発が必要である。また、くまもと緑・景観共同機構による花いっぱい運動支援事業により種子や苗の支給があることから、本制度を利用し拡充が図れると思われる。
	<p>②自然と暮らしの接点としての里山の活用、水辺などの公園の維持管理</p> <p>里山環境の保全をハード（公園化）とソフト（環境学習）の両面から保全・活用する取り組みや体制づくりを</p>	地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> ● 【立神峡公園における環境学習による里山環境の改善】 里山フェスタは、新型コロナウイルス感染症により未実施。 ● 【竜北公園周辺における里山活用の推進】 竜北公園へは季節に応じて来園者が多く、家族連れなどが自然の中での活動が見られるが、交流促進までの活動にはつながっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 【竜北公園周辺における里山活用の推進】 竜北公園の里山環境をツーリズムの活動の場として活用するよう検討していく必要がある。 ● 【立神峡公園における環境学習による里山環境の改善】 指定管理者と協議しながら実施方法等の検討。

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
	進めます。 ③みどりに囲まれた豊かな景観形成のためのルールづくり 田園から里山まで、地区の特性に合わせた景観づくりへむけた取り組みを推進します。	地域振興課	● まちづくり条例と併せて見直す予定。	● まちづくり条例の適用区域外での建築協定や景観の形成が図ることができない。
	④自然、産業、暮らしが折り合う、良好な環境づくりを進めるための計画的な土地利用の推進 土地利用に関する計画に基づく適正な土地利用を誘導するための取り組みや住民意識の向上に努めます。	地域振興課	● 町国土利用計画及び町土地利用計画を策定しており、運用にあたっては、現行のまちづくり条例での誘導が可能である。	● 町国土利用計画及び町土地利用計画を策定しており、運用にあたってはまちづくり条例での誘導が可能となっている。しかし、現在のまちづくり条例の適用区域が宮原地区に限定されているため、竜北地区における誘導が課題である。
5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり	①豊かな自然とそこで育まれた歴史・生活文化を活かし、立神峡公園などを拠点とした環境学習の推進 山から海までの自然資源を活かした環境学習活動を、拠点を中心に推進します。	地域振興課 企画財政課	● 定期的な清掃活動や体験事業の開催により、住民が環境について考える機会を設けている。 ● 【里山暮らしの体験】新型コロナウイルス感染症拡大の中、里地屋敷に742名の宿泊があり、里山暮らしを提供することができた。 ● 【立神峡公園施設の活用・維持管理】老朽化した看板2基、六ハウスの屋根改修等を実施した。	● 新型コロナウイルスの拡大による事業の縮小や中止のため、住民の参加呼びかけが行えていない。体験事業などのニーズや実施方法の検討が必要である。 ● 【里山暮らしの体験】広い世代に環境学習活動を提供するため、地域との協力体制の構築が必要である。また、新型コロナウイルス感染症に対応した実施体制の構築。 ● 【立神峡公園施設の活用・維持管理】公園内施設や設置物、看板等にも老朽箇所が見られ、維持コストも高いことから、公園管理及び利用において既存施設のうち今後も必要となる箇所を取捨選択していく必要がある。
	②環境学習を通じて育まれる自然環境保全の意識を基にした、環境保全活動の家庭や地域、企業ぐるみでの推進（里山や田園環境の保全など） 様々な環境保全活動の人材を育成し、住民主体の活動の推進を支援します。	地域振興課	● 里山環境インストラクターの養成などはできていない。	● 森林インストラクターを活用した取り組みを実施するための体制づくりと指定管理者との連携が必要。
6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり	①家庭や身近な地域から始まる循環型社会づくりを目指したリサイクルやごみの減量化・分別活動の推進 ごみの分別収集・リサイクル活動をはじめ、環境にやさしい暮らしを推進するための意識啓発や各種活動へ	町民課	● 保健衛生委員によるリサイクル及び分別推進、管内小・中学生を対象としたごみ減量化標語コンクールなどを通じて、ごみ減量化やリサイクル・分別活動など、家庭や身近な地域から始められる活動の啓発を図っている。 ● また、ごみ減量化宣言に伴い、生ごみ処理機や生ごみコンポストの導入推進、資源物品目の拡大、平日資源物拠点回収の設置等により、可燃ごみの減量及び資源物収集量の増加など一定の成果が上がっている。	● R3年度から一部のプラスチック製品の回収を実施しているが、対象外品目の排出が多い状況がある。 ● また、R6年度から八代市への可燃ごみ処理の事務委託に伴い、ごみ収集体系やごみ分別基準の変更などが生じてくる。 ● これらの課題に対しては、住民への分かりやすい説明及び周知が必要となってくる。

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
	<p>の支援を進めます。</p> <p>②公共施設や各家庭における太陽光発電などのクリーンエネルギーの活用促進</p> <p>太陽光や風力などのクリーンエネルギーの活用や省エネ活動の推進を支援します。</p>	町民課	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民や業者への周知ができ、補助の件数も増加し目的達成に向けた成果が出てきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業の対象内容の見直し（蓄電池への補助等）を行い、規則の改正が必要である。
	<p>③不法投棄の防止、環境美化活動の推進</p> <p>各地区で自ら進める環境美化活動を支援するとともに、不法投棄の防止へむけた施策を推進します。</p>	町民課	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍の中、環境美化一斉行動の参加率は目標を下回っているものの、各種団体と連携を図りながら、環境への意識改革、マナーの周知は一定の成果が出ている。 ● また、廃棄物監視員を中心に、野焼きや不法投棄の防止活動に努めており、近年早期発見が図られている。悪質と思われる不法投棄及び野焼きについては、警察等関係機関と連携し、対応を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 野焼きや不法投棄の早期発見はできているが、R3年度の不法投棄件数は増加し、繰り返し投棄するなど、悪質なものも増加している。